

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和3年4月1日 から 令和4年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立東文化会館	
(2) 施設の設置目的	
市民文化の創造及び振興に寄与するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 文化部 文化課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人堺市文化振興財団	
(5) 指定期間	
令和2年4月1日から令和7年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">貸館業務をはじめとする施設の管理運営に関することホールなどを活用した文化芸術振興事業を行うこと施設設備の維持及び修繕等、保守管理に関すること消防訓練や避難経路の確保を行い緊急時の対応に備えること市から貸与を受けた備品を適切に管理すること利用者の意見を管理運営に反映させるため、アンケート等による意見聴取を行うこと	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
SAYAKAホール	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	・公演時の避難訓練など安全確保に向けた取組を行った。 ・情報セキュリティ研修を行うなど個人情報の保護に対する職員の意識付けを行った。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	・人権研修や接遇研修をはじめ多様な研修を実施した。 ・年度事業計画書に基づき保守点検を行うとともに、適宜不具合箇所の修繕を行うなど適切に維持管理を行った。
施設の設置目的に沿った事業の実施	・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、仕様書におけるギャラリー活用事業を除いた事業数の目標は達成できなかったものの、地域団体と協働で事業を企画し、市民が文化芸術に触れる機会を創出した。
その他特筆すべき取組	・アミナス北野田及びベルヒル北野田が複合施設であることから、連携を取りながら防災・防犯対策を行っている。

イ 市による状況分析

・近隣の学校、文化団体をはじめとする地域住民や利用者とのコミュニケーションを積極的に図るなど、地域文化会館として地域貢献に取り組んでいる。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
指定管理者名	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団
利用者数(単位:人)	241,542	232,853	88,676	86,779	—
稼働率(単位:%)	88.8	88.0	80.3	81.2	—
利用者満足度(単位:%)	90.3	96.2	96.2	96.2	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	・広報さかいや財団HP、メールマガジン等様々な媒体に案内を掲載し、集客及び利用促進に努めた。
意見・苦情・要望等への対応	・事業ごとにアンケートを集計し、次回以降の事業企画へ反映している。 ・アンケートの意見を新型コロナウイルス感染対策等施設運営に反映し、改善を図った。
その他特筆すべき取組	なし

ウ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響により例年よりも稼働率及び利用者数は低いものの、アンケートの結果分析を行って運営につなげるなど満足度は高水準を維持した。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

指定管理者名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
公益財団法人 堺市文化振興 財団		公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団
収入	指定管理料	114,148,000	114,710,000	124,000,339	116,122,284	112,700,000
	利用料金	49,607,451	45,192,805	23,846,300	31,151,478	47,172,000
	負担金	0	0	0	0	
	その他	7,619,266	13,103,354	13,229,852	14,528,140	9,194,000
合 計		171,374,717	173,006,159	161,076,491	161,801,902	169,066,000
支出	人件費	60,724,711	63,724,022	55,613,569	57,548,711	60,960,000
	委託料	68,185,280	79,912,902	75,477,964	67,528,897	68,681,000
	総支出額に占める 委託料の割合	40.5%	43.8%	46.2%	42.4%	40.6%
	修繕費	1,636,124	1,470,506	3,001,862	4,049,069	2,905,000
	光熱水費	21,435,757	20,540,796	15,655,051	17,208,847	20,000,000
	その他	16,177,321	16,654,306	13,669,075	12,788,578	16,520,000
合 計		168,159,193	182,302,532	163,417,521	159,124,102	169,066,000
収支差額		3,215,524	-9,296,373	-2,341,030	2,677,800	0
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
収 入	1,509,230	2,112,642	873,496	1,088,837	1,975,000
支 出	1,733,824	2,282,512	829,607	1,156,602	1,903,000
収支差額	-224,594	-169,870	43,889	-67,765	72,000
(市への納付金の額)	—	—	—	—	—

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度に続き臨時休館や時短営業を行いながらの事業実施等によりコロナ以前までの利用料金収入には達しなかったが、節電・節水等に努め、光熱水費等の経費縮減を図った。 指定管理料には市の休館等指示で還付した令和3年度の利用料金等相当分として市が支払った3,422,284円を、その他収入には管理運営に支障が生じている指定管理者に対する堺市指定管理者管理運営継続支援金9,443,000円を含む。
------------	---

ウ 市による状況分析

経費の縮減や市が新型コロナウイルス感染症に係る管理運営継続支援金等の対応を実施したことから、収支差額はプラスとなった。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
ホール活用事業	6回以上	11回
ギャラリー活用事業	3回以上	3回
生涯学習施設活用事業	12回以上	81回

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者数	250,000人以上	86,779人
施設稼働率	85%以上	81.2%
満足度	利用者の満足度:90% 文化芸術振興事業に対する満足度:90%	利用者の満足度:96.2% 文化芸術振興事業に対する満足度:99.8%

■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入	51,600,000円	31,151,478円

イ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響で、一部事業の中止や、一定期間、臨時休館を行ったこと等により、ギャラリー活用事業を除いた事業回数や利用者数・施設稼働率・利用料金収入は目標に届かなかった。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	主催事業においては、ギャラリー活用事業のみ達成した。また、利用控えなどにより利用者数・利用料金収入は目標に達しなかったが、施設の状態や職員の対応など高い利用者満足度を得られた。	新型コロナウイルス感染症の影響により、主催事業が中止になりながらも事業実施回数や満足度が仕様書の目標を上回ったことは評価できる。
今後の取組	今後は子どもや高齢者などターゲットを絞った事業展開を行い、券売率の向上を図る。また、魅力的な主催事業を実施することにより貸館利用希望者の認知度を高め、利用者数と来館頻度の増加につなげる。	今後も地域と協働した事業の展開や、ホール練習利用促進やホール・ギャラリー事業に関連した多目的室のブース利用など、多くの方が文化芸術に触れる機会をより多く享受できるよう図りたい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの